

2025. 12. 22

## 高齢者や障がい者などに優しい観光地に 「ユニバーサルツーリズム研修」開催しました。 ～30社42名が参加～

横浜市観光協会は、12月5日(金) に、帆船日本丸・横浜みなと博物館会議室にて障がいの有無や年齢にかかわらず全ての方がより安全で快適に観光できる「ユニバーサルツーリズム」促進のため、「ユニバーサルツーリズム研修」を開催しました。本研修では、補助犬についての講演に始まり、バリアフリー旅行の豊富な経験とノウハウを持つ講師が、車いす体験を通して、どのようなサポートや声かけが必要とされているかを分かりやすく解説しました。

### 研修の様子

「身体障害者補助犬とは？～横浜市の現状～」と題して、横浜市健康福祉局障害自立支援課 宇野 紘子氏に、ご講演いただきました。

補助犬は身体障害者補助犬法に基づいて訓練、認定されており、不特定多数の方が利用する施設において、3種の補助犬の同伴を拒んではならないとされていることから、「犬」というだけで、補助犬の同伴を拒否することはできない、とお話しくだしました。



横浜市は2027年にGREEN×EXPO2027(国際園芸博覧会)、2026年には国際盲導犬連盟の会議を控えています。

そこでユニバーサルツーリズムアドバイザー 淵山 知弘氏には、①ユニバーサルツーリズムとは ②GREEN×EXPO2027に向けて ③盲導犬(補助犬)の受入れ という3つのテーマで講演いただきました。

ユニバーサルツーリズムの解説では、横浜を訪れる多くの修学旅行生の中には車いすの生徒がいる場合もあることや、大さん橋に寄港する大型クルーズ客船には一定数の車いす利用者、足腰が不安なシニア層がいることをお話しくだしました。

また、旅行中に補助犬がどう過ごしているのか、実際に旅行中の補助犬の写真を用いてご紹介くださいました。

アイマスク・車いす体験ではアイマスクを使用した視覚障がい者・手引き、車いすの基本的な操作を体験してもらいました。

参加者からは、わずかな段差でも苦戦してしまった、スロープでは思いのほかスピードが出てしまうことが分かった、という声が聞かれました。



アイマスクをした参加者を誘導



淵山氏による車いすの取扱いの説明



車いすの乗車・押す体験